

# BECKMAN XL-80型超遠心機使用法

サンプル量は肉薄チューブ使用時（スイングローター）は上から2, 3mm程度まで、肉厚チューブ使用時（アングルローター）は半量以上必要です。

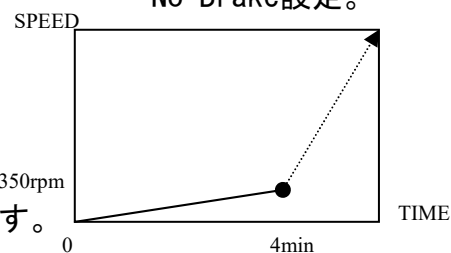
注意  
UCチューブはオートクレーブ不可  
PCボトルはエタノール不可

1. 試料のバランスをとり、対称にローターにセットする。  
バランスをとるときは、キャップやバケットの重さも含めます。  
スイングローター使用時は空のバケットも架けてください。
2. 本体ブレーカーをONにする。（本体右側）
3. ドアをスライドさせて開け、軸に負担がかからないように垂直にローターをセットする。ドアを閉める。
4. 【VACUUM】を押し、チャンバー内を真空にする。
5. 【SPEED】を押し、回転数を入力後、【ENTER】を押し。  
（不適切な値を入力した場合は、【CE】を押してエラーをクリアして下さい。）
6. 【TIME】を押し、時間を入力後、【ENTER】を押し。  
（時間のカウントはスタート直後から始まります。）
7. 【TEMP】を押し、使用する温度を入力後、【ENTER】を押し。
8. 【ROTOR】を押し、使用するローターの番号を入力後、【ENTER】を押し。
9. 【ACCEL PROFILES】を押し、加速の度合いを設定する。通常は4を使用する。（右表参照）  
（スイングローターは4か7を使用して下さい。）
10. 【DECEL PROFILES】を押し、減速の度合いを設定する。通常は4を使用する。（右表参照）  
（スイングローターは4か7を使用して下さい。）
11. VACUUMの値が750micronまで下がったら【ENTER】を押した後、  
【START】を押し、遠心をスタートさせる。  
最高回転数に到達するまでは近くで待機しててください。  
異常発生時はすぐに【Stop】を押して避難してください。

| Number | 回転数 | 時間   |
|--------|-----|------|
| 1      | 170 | 2:00 |
| 2      | 350 | 2:40 |
| 3      | 500 | 3:00 |
| 4      | 170 | 3:00 |
| 5      | 350 | 4:00 |
| 6      | 500 | 4:30 |
| 7      | 170 | 4:00 |
| 8      | 350 | 5:20 |
| 9      | 500 | 6:00 |

数値なしはMAX SPEED。  
DECELの場合のみ0で  
No Brake設定。

12. 遠心が終わったら、【VACUUM】を押し、  
チャンバー内にエアを入れる。
13. エアの音が止まったら、ドアを開けてローターを取り出す。  
（内部を乾燥させるため少しだけドアを開けておく）
14. 本体ブレーカーをOFFにする。



ACCELS5の場合。  
0→350rpmを4minかけて上げ、その後  
MAX SPEEDで設定回転数まで上がります。  
DECELはその逆で350rpm→0に4minかかります。

使用後は使用ノートの記入をお願いします。

又、使ったローター、バケット、キャップ等は蒸留水で洗って下さい。

使用前にあらかじめ温度を設定しておきたい場合は、電源投入後、【TEMP】をセットした後  
【VACUUM】で真空にして下さい。